

常任委員会代表質問通告・内容一覧表

議会傍聴者用

質問順	質問委員	通告の標題・内容
1	総務文教常任 委員長 畑 久雄	<p>◎ 瓜幕自然体験留学制度の今後の在り方について</p> <p>瓜幕自然体験留学制度は昭和 63（1988）年に北海道で 2 か所目の山村留学事業として瓜幕市街で発足した。</p> <p>留学生は延べ 500 人を超え、町の事業として歴史を重ね認知されてきている。</p> <p>(1) この事業で鹿追町にもたらした成果及び効果は。</p> <p>(2) 地域の児童生徒との学年の人数を考慮し、それを上回る留学生の受け入れの考え方は。</p> <p>(3) 受け入れ方式はセンター・親子留学・ホームステイがあるが、どのような方式を推進していくか。</p> <p>(4) 留学センターは修繕をしながら使用しているが、この事業を継続するにあたり改築する考えは。</p>

一般質問通告・内容一覧表

質問順	質問議員	通告の標題・内容
1	狩野正雄	<p>◎ 産業の担い手を育てる取組について</p> <p>コロナ禍により地方移住や農業に関心のある人が増えているが、収入などの不安から移住・就農に踏み切れない側面もある。</p> <p>これらの人に一定の収入を補償する等、農村集落の維持や産業基盤を安定させるための人材確保につなげる研究が必要と考える。</p> <p>(1) 地域に基盤のない移住者や就農者のために、新規就農者を育成する研修機能と生産機能をもつ「研修牧場（農場）」を設立する考えは。</p> <p>(2) 移住者を地域の仲間や産業の担い手として受け入れる環境づくりと、担い手を育てる仕組みをどう考えるか。</p>

質問順	質問議員	通告の標題・内容
2	山口優子	<p>◎ 農福連携についての考え方は</p> <p>第7期鹿追町総合計画の障がい者福祉関係に「農福連携等について検討する」とあるが、どのように推進していくか。</p> <p>その場合、農業振興課及び保健福祉課職員・地域活動支援センター等との連携や、障がい福祉に詳しいコーディネーターの配置も必要だと思うが。</p> <p>現在、瓜幕バイオガスプラントの野菜ハウスで、農福連携の一環として1人雇用しているが、今後さらに雇用を増やしていく考えか。</p> <p>地域再生計画による野菜ハウスの売上目標・雇用目標はどちらも達成できていないが、課題は。</p> <p>また、今後5年はどのような計画・目標で進めていくか。</p>